

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

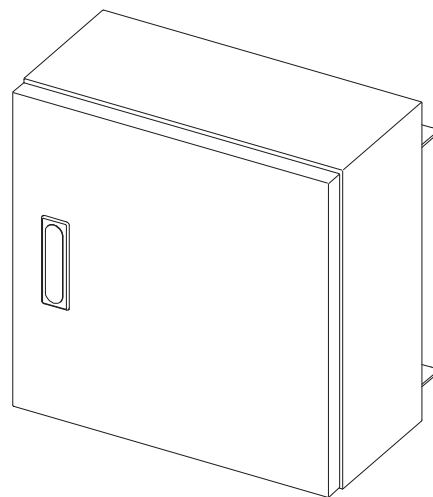


DIGITAL

外部電源接続 BOX

HAOT103□K、GAOR103K 用オプション
屋外用 マスト取付形（取付バンド付属）
車載用バッテリー（DC12V）接続形/単3乾電池（※）

PSA1



※ブースターケーブルおよび単3乾電池は別売です。

製品概要

この製品は、地上デジタル放送を同時再送信するギャップフィラー（弱電界地域用小規模無線中継設備）システムにおいて、災害停電時対応機能を備えた地上デジタル放送用ヘッドアンプ（光出力）、送信機（光入力）にバックアップ電源を接続するための電源 BOX です。車載用バッテリー（DC12V）もしくは、アルカリ単3乾電池8本でバックアップが可能となります。

製品の特長

●車載用バッテリー（DC12V）接続で長時間バックアップ可能

ブースターケーブルで、直接自動車からシステムに電源を供給できます。

●緊急時アルカリ単3乾電池8本でバックアップが可能

緊急時に市販の電池で、1チャンネルのみをバックアップできます。

●安心の保護等級

JIS IPX4(JIS 保護等級 4)をクリアーし、降雨時も安心です。

●取付バンドで、電柱に取付可能

●カギによる施錠が可能

付属のカギで、施錠できますので、電柱などの低位置に設置をしても安心です。

安全上のご注意

	△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は禁止の行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 表示電源電圧以外の電源で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- 設置やお手入れ、点検する際は、高所などでは足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策を行ってください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 風の強い日、雨、雪、霧、雷などの天候の悪い時や暗い所では、危険ですから設置工事やお手入れ、点検をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



- この製品とケーブルの接続で、心線と外部導体がショートしないようにしてください。ケーブルに電流が流れていると、火災や感電の原因となります。



- この製品に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。雨天での設置工事や点検・調整でフタを開けないでください。火災や感電の原因となります。



- この製品を設置・点検・調整した後は、コード類やその他の異物を挟み込まないように正しく蓋を閉めてください。異物を挟み込んだまま蓋を締め付けたり、蓋の締付状態が悪いと、水が入って火災や感電の原因となります。



- 万一内部に水や水滴が入った場合は、まずこの製品に供給している電源を切り、水分をよく拭き取ってから、電源を供給してください。そのまま使用すると、故障や火災、感電の原因となります。



- この製品を分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源を切り、施設管理者に連絡し、施工業者に修理をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



注意

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 濡れた手で機器の設置等を行わないでください。感電の原因となることがあります。



- この製品に接続するケーブル類を傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障や破損の原因となることがあります。



- この製品を処分するときは、乾電池以外は産業廃棄物として処理してください。



- 使用済みの乾電池はプラス極（+）、マイナス極（-）にセロハンテープ等を貼り絶縁処理してから、地方自治体のルールに従って処理してください。



乾電池取扱上のご注意

乾電池は、次のことをご注意の上使用してください。

- (1) 同じ種類・銘柄（メーカー）の新しい電池をご使用ください。異なった種類、新旧の電池を混ぜて使うと、発熱、液もれ、破裂により、けがや周囲汚損の原因となることがあります。
- (2) 乾電池は、+（プラス極）、-（マイナス極）の表示通りの向きに入れてください。極性を間違えると破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
- (3) ラベルやチューブをはがしたり、キズをつけたり、ショートさせたり、分解・改造しないでください。発熱、破裂、発火、液漏れにより火災・けがの原因となることがあります。
- (4) 加熱したり、火中に投入しないでください。液漏れ、破裂、発火により、けがや周囲汚損の原因となることがあります。
- (5) 雨水や海水などの液体で濡らさないでください。端子が腐食したりして十分に性能を引き出せなくなります。
- (6) 電池の中の液が皮膚や衣服に付いたときは、水道水やきれいな水で洗い流してください。万一、目に入った場合は、失明のおそれがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください。

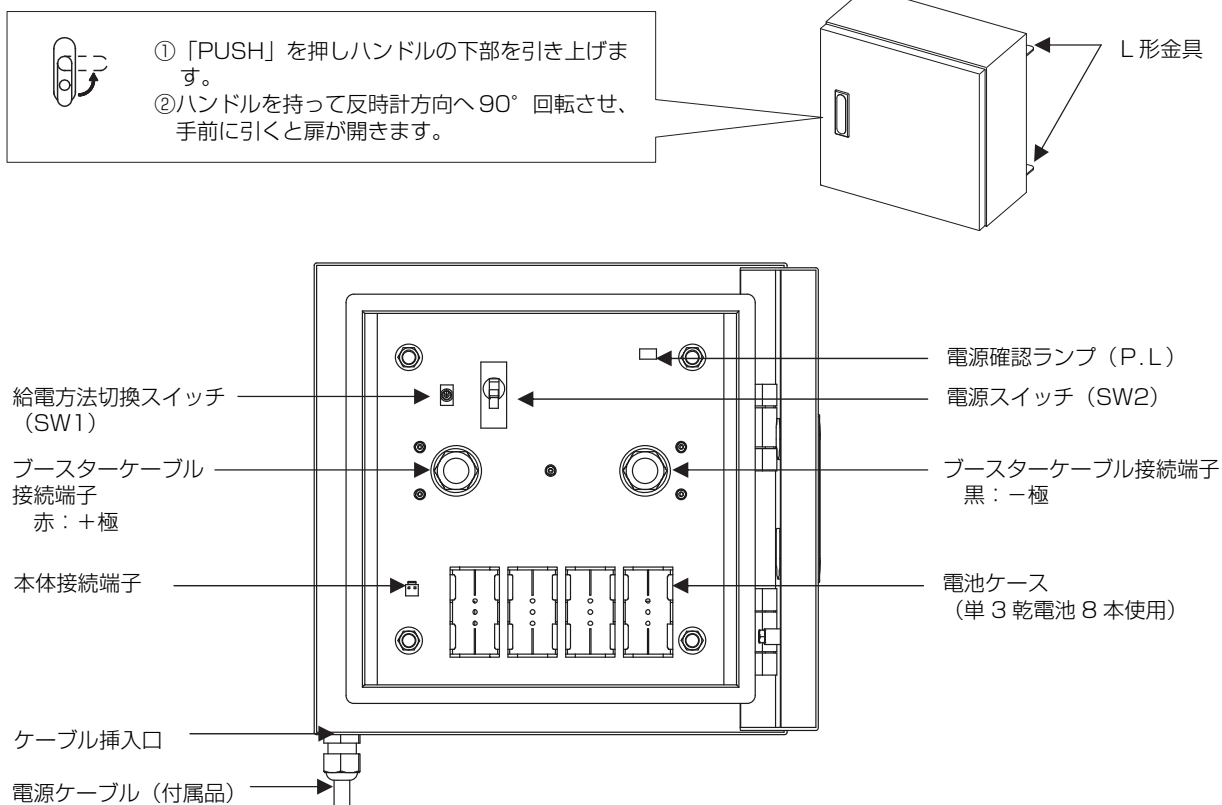
使用上のご注意

- (1) 乾電池は停電時、バックアップ動作が必要になったときに入れてください。（※使用後は取りはずしてください。）
- (2) この装置の設置、取り外し時は、必ず電源スイッチ（SW2）を「OFF」にしてください。また、作業前には時計など金属物をはずしてください。
- (3) この装置は屋外防沫形ですので、日常の点検、お手入れは必要ありませんが、年に2回以上の定期点検を実施してください。

付属品

名 称	数 量	名 称	数 量
電源ケーブル（10m、締付キャップ付）	1	マスト取付バンド	2 組
カギ	2	（6 角ボルト×2、挿入ピン×1、O リング×1 含）	

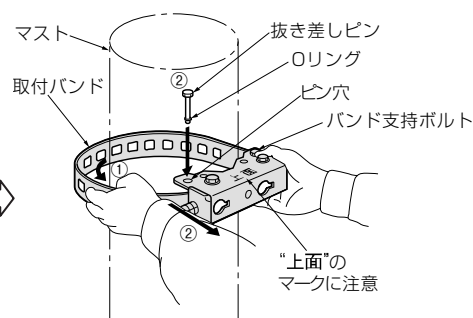
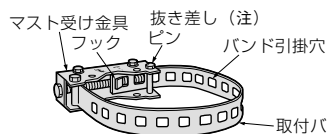
各部の名称



取付方法

<取付バンドと BOX 本体の取付方法>

- ①マストに取付バンドを巻き、マスト受け金具の内のフックにバンド引掛穴を引掛けます。



- ②抜き差しピンをピン穴に差し込みます。

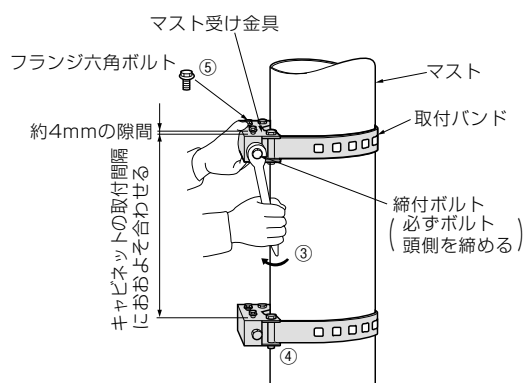
(注) ピンがバンドを支えられるようにしてください。

- ③締付ボルトを締めて取付バンドを固定します。

締付トルク：40N・m

- ④下側のマスト受け金具は、後で位置合せができる程度にゆるく仮止めしてください。

- ⑤上側のフランジ六角ボルトの隙間を設けて取り付けてください。

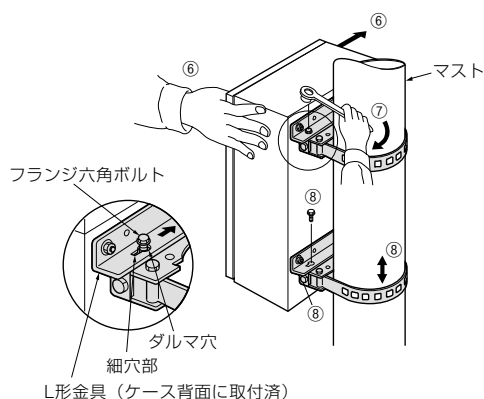


- ⑥マスト受け金具のフランジ六角ボルトに、BOX 背面の L 形金具のダルマ穴をはめ込みます。

- ⑦フランジ六角ボルトを締め付け、固定します。

締付トルク：10N・m

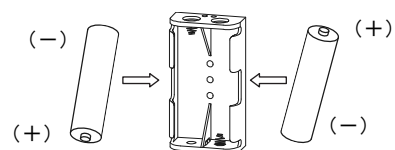
- ⑧BOX 背面下側の L 形金具のダルマ穴に、取付バンドの位置を合わせてフランジ六角ボルトを取り付けた後、取付バンドをしっかりと締め付け固定します。



<単 3 乾電池>

・極性 (+, -) 表示の通り、一極側から電池を入れてください。

・充電式ニッケル水素電池は、電圧容量不足で使用できません。



〔電池の種類とバックアップ動作時間〕

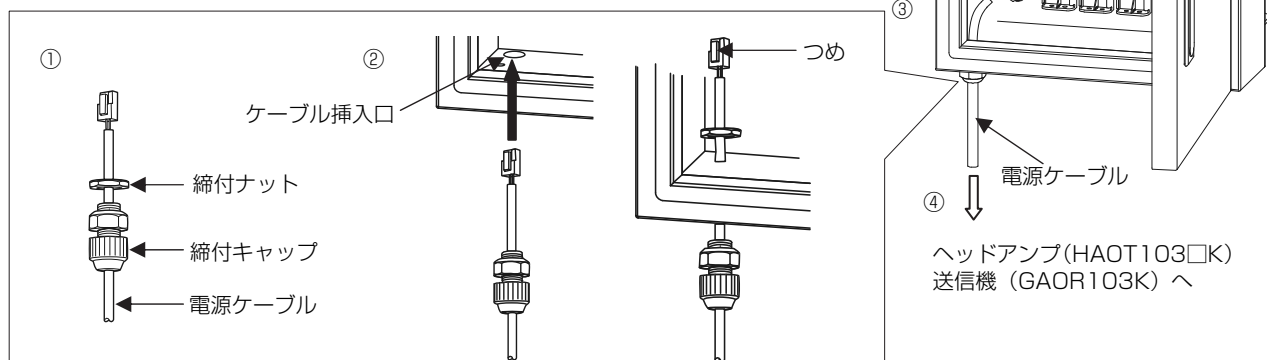
電池種類	バックアップ動作時間
アルカリ単 3 乾電池 8 本	約 3 時間

(GAOR103K、HAOT103□K に使用時)

ケーブルの接続

<電源ケーブルの接続>

- ①電源ケーブルに付いている締付キャップから締付けナットを取りはずします。
- ②本体底面のケーブル挿入口から電源ケーブルを引き込み、締付ナットで固定します。
- ③電源ケーブルの先端コネクタのつめを押しながら本体接続端子に接続します。
- ④電源ケーブルのもう一方の先端をヘッドアンプ(HAOT103□K)または送信機(GAOR103K)に接続します。



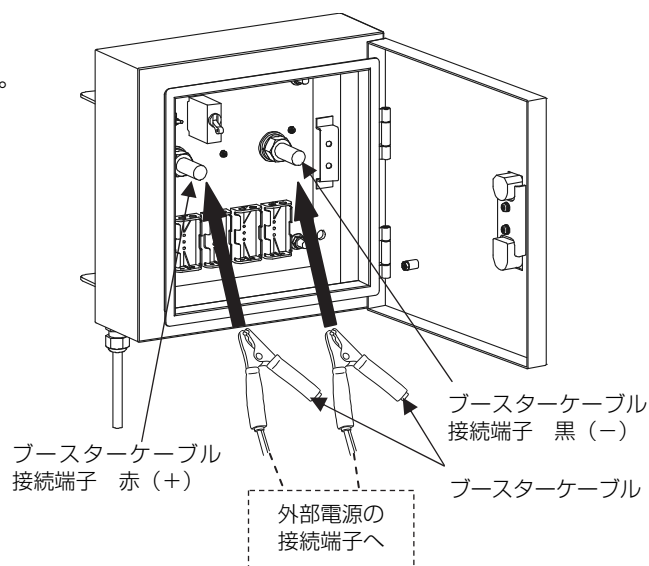
電源の供給方法

<ブースターケーブルの接続>

- ①電源スイッチ(SW2)が「OFF」になっていることを確認します。
- ②給電方法切換スイッチ(SW1)を「ブースターケーブル給電」に設定します。
- ③鉛バッテリーに接続された負(－)極側のケーブルを「ブースターケーブル接続端子〔黒(－)〕」に接続します。
- ④鉛バッテリーに接続された正(＋)極側のケーブルを「ブースターケーブル接続端子〔赤(＋)〕」に接続します。

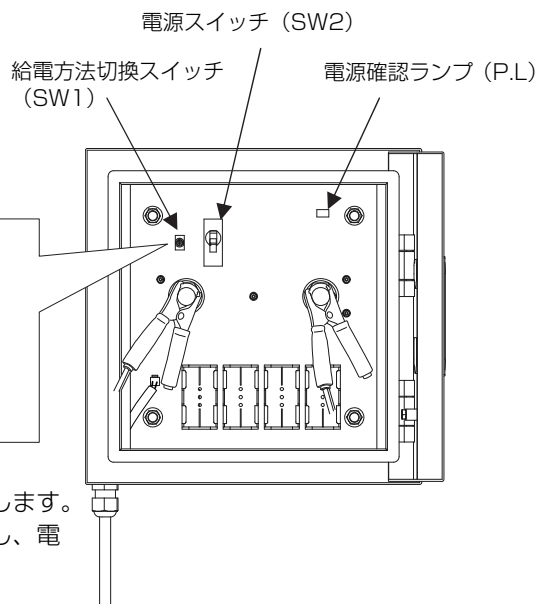
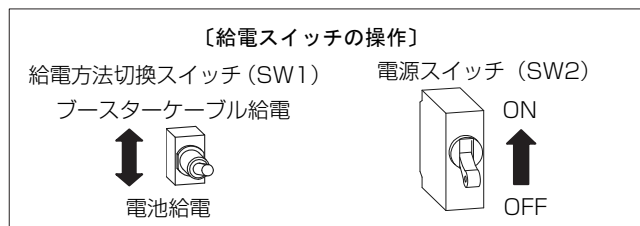
【ご注意】

- ・＋極と－極を正しく接続してください。極性を誤って接続すると、故障や火災の原因となります。
- ・ブースターケーブルを接続時に、フタが閉まりケーブルを挟まないようにご注意ください。



<電源の供給>

- ①給電方法切換スイッチ (SW1) で給電方法を「ブースターケーブル給電」、「電池給電」から選択します。
 - ・通常は、給電方法切換スイッチを「ブースターケーブル給電」にして運用してください。
 - ・緊急時、単3乾電池(8本)で動作させる場合は、乾電池を入れた後に「電池給電」側に切り換えてください。
- ②全てのケーブル接続が完了していることを確認した後に、電源スイッチ (SW2) を「ON」にします。
- ③電源確認ランプ (P.L) が点灯していることを確認してください。



<電源の供給終了後>

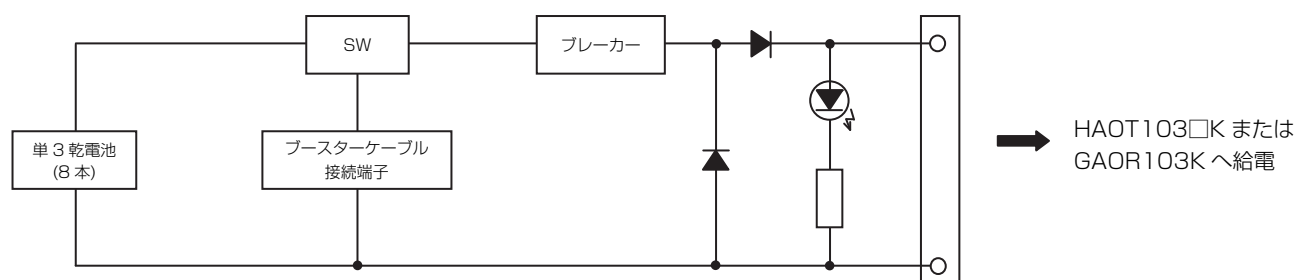
- ①電源スイッチ(SW2)を「OFF」にし、ブースターケーブルをはずします。
- ②電池より給電している場合は、電源スイッチ(SW2)を「OFF」にし、電池をはずします。
- ③フタを閉め施錠します。

規格特性

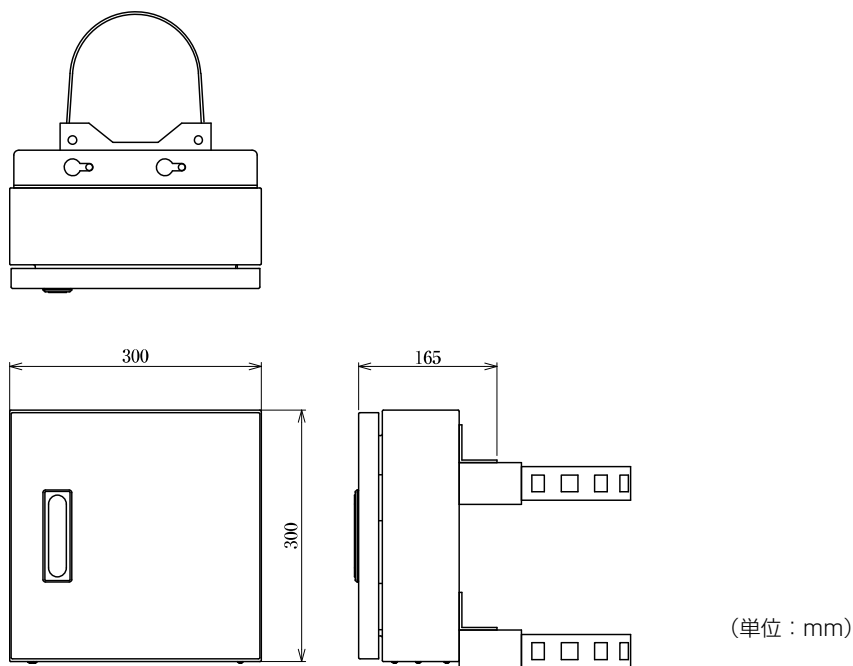
項 目	単位	規 格 値	備 考
使 用 温 度 範 囲	℃	-20～+50	
外 形 寸 法	mm	300 (H)×300 (W)×165 (D)	突起物含まず
質 量	kg	7.5 以下(本体)、3.3 以下(マスト取付バンド)	

※本体給電電圧は、挿入する電池、接続する車等のバッテリーに依存します。
規格は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

ブロックダイヤグラム



外形寸法図



カスタマーセンター  **0120-941-542**

〔受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00 土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く〕

携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合 **03-4530-8079**

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(2011年2月)